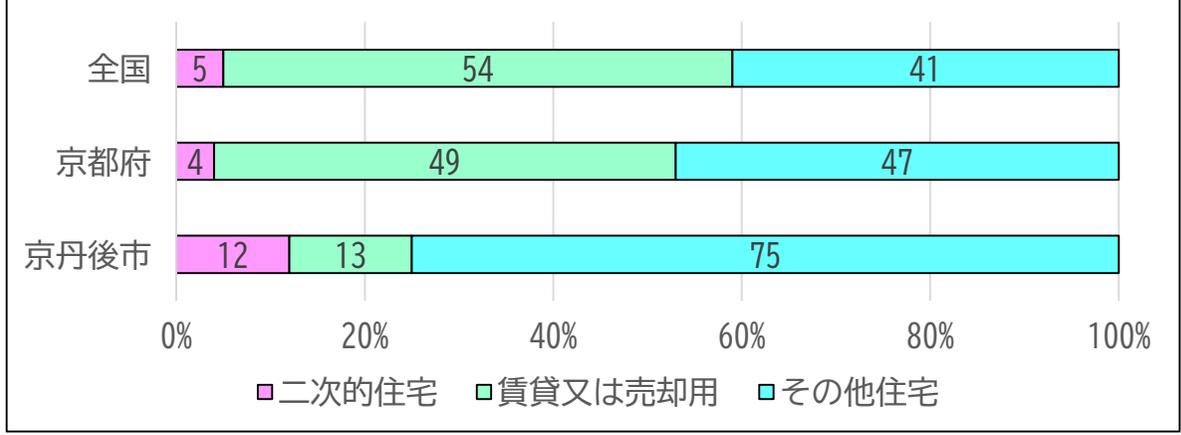


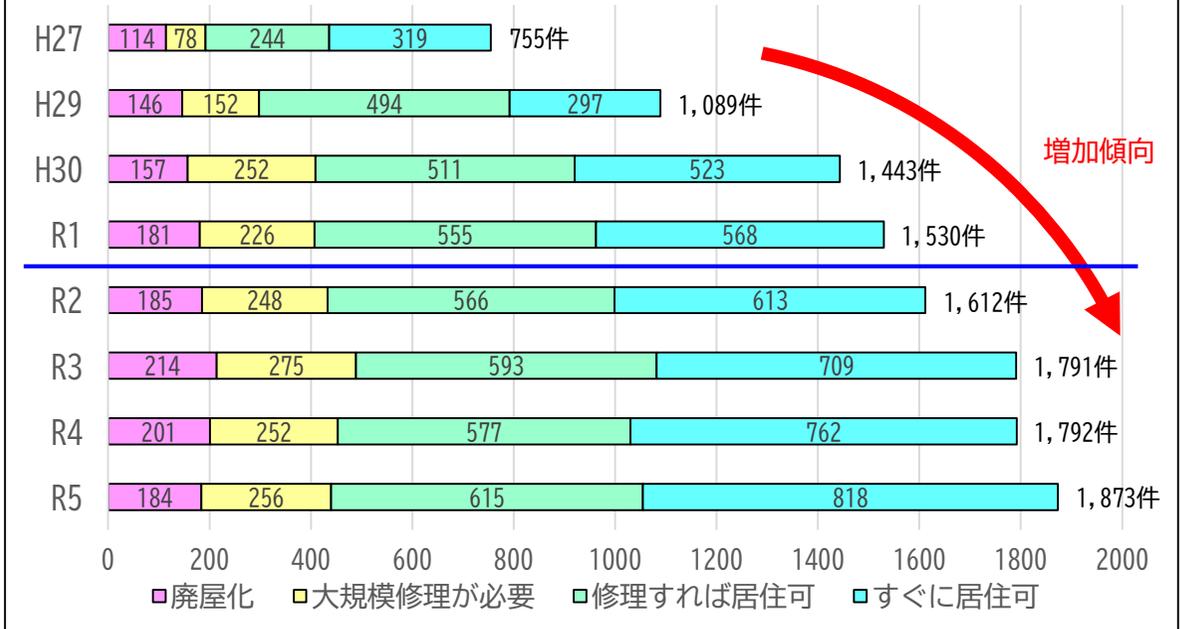
【R5 住宅・土地統計調査(速報値)】



■ 二次的住宅：別荘など
■ 賃貸又は売却用：借家、売物件
■ その他住宅：上記以外
 ※売却や賃貸に出しておらず、定期的な利用がされていない状態のもの

全国や京都府と比べて、京丹後市の場合、「その他住宅」の割合が高く、対策が必要な空家が多い事がわかります。

【京丹後市の空家数】市の調査結果

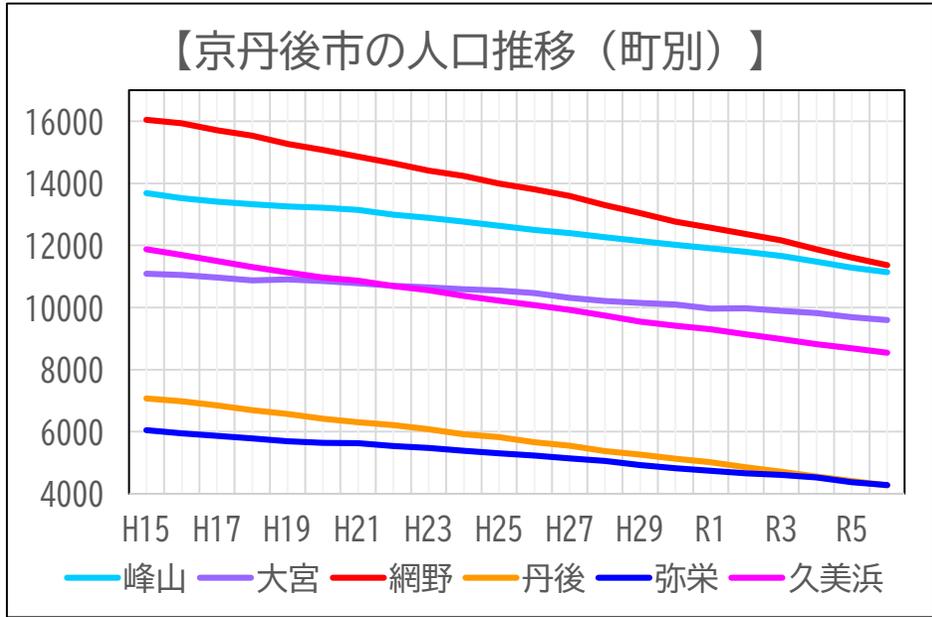


市では平成27年度から京丹後市の空家の実態について調査を行っています。

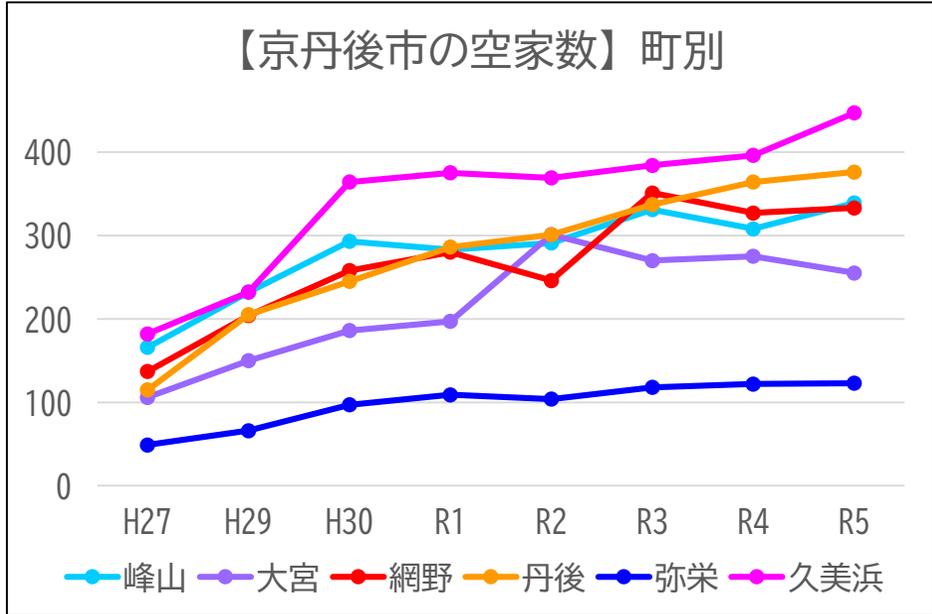
近年では一定掘り起こしが進んだこともあり、増加のペースの鈍化は見られるものの、**空家の数が増えている**ことがわかります。

また、状態の良いものが増えていて、これらの**空家の状態が悪くなる前に対策をすることが重要**です。

※現計画期間(R2⇒R5調査)中の変動
 状態の悪いもの+102%
 状態の良いもの+122%



	前年比人口変動	
	H16～R1平均	R2～R6平均
峰山町	-0.86%	-1.25%
大宮町	-0.62%	-0.81%
網野町	-1.52%	-1.86%
丹後町	-2.12%	-2.94%
弥栄町	-1.49%	-1.94%
久美浜町	-1.54%	-1.58%



	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	市全体
H27	166	106	137	115	49	182	755
H29	232	150	204	205	66	232	1,089
H30	293	186	258	245	97	364	1,443
R1	283	197	280	286	109	375	1,530
R2	291	301	246	301	104	369	1,612
R3	331	270	351	337	118	384	1,791
R4	308	275	327	364	122	396	1,792
R5	339	255	333	376	123	447	1,873

◆人口の減少と空家の増加について
 大まかな傾向として、人口減少の割合が相対的に高い地域は、空家の増加が多いことが伺えます。
 人口減少の中、どのように管理・活用をすすめていくことが課題となっています。